

7-7 附属図書館の学習環境

附属図書館は、共通講義棟、食堂、大学生協、保健管理センター等に隣接し、キャンパスで最も人通りが多く、学生にとってアクセスしやすい場所に立地しています。昭和 33 年の竣工以来増築を重ね、平成 19 年度には大幅な改修を施し、全国でいち早くラーニング・コモンズやキャリアカフェといった居心地のいい学習空間を設置し、また、最先端の学術情報サービスの提供を進めてきました。これらによって、来館者数、図書の貸出数が増加し、座席数が不足するなど施設の狭隘化が課題になっていましたが、平成 29 年度に増築・改修を行い、平成 30 年 4 月にリニューアルオープンしました。

1) 基本情報

A：建物面積（令和 8 年 5 月 1 日現在）

名 称	構 造	建面積	延面積
附属図書館	RC：3-1	2,386 m ²	5,053 m ²

B：利用状況（令和 7 年度）

開館日数	入館者数	館外貸出冊数
287 日	137,747 人	25,048 冊

C：蔵書冊数（令和 8 年 5 月 1 日現在）

図書の冊数		所蔵雑誌の種類数	
和 書	504,390 冊	和雑誌	6,739 種
洋 書	188,152 冊	洋雑誌	1,934 種
計	692,542 冊	計	8,673 種

D：年間受入冊数（令和 7 年度）

年間受入図書冊数		年間受入雑誌の種類数	
和 書	5,365 冊	和雑誌	724 種
洋 書	1,250 冊	洋雑誌	67 種
計	6,615 冊	計	791 種

E：開館時間 ※年末年始、授業のない祝日等休館のことがある。

	授業のある期間	授業のない期間
月～金	8:45～21:00	8:45～17:00
土	10:00～18:00	休館
日	13:00～18:00	休館

F：貸出できる資料の冊数と期間

	図 書	視聴覚資料
学部 1～3 年生	10 冊、2 週間	3 点、1 週間
学部 4 年生、大学院生	20 冊、4 週間	

A：蔵書

・本学には、附属図書館のほかに学科・講座等にも 20 余りの図書室・資料室があります。上記 C、D の数値は学科・講座等図書室を含めたものです。附属図書館は本学の教育・研究基盤として、学生の教育研究に必要な基本的・学際的な学術図書を中心に、21 世紀型文理融合リベラルアーツ教育に対応した図書など、本学の特色

ある教育を支える資料を収集しており、約 40 万冊が配架されています。また、電子ジャーナル、電子ブック、各種データベース、視聴覚資料の整備にも努めています。一方、学科・講座等の図書室では、それぞれの研究分野に応じた専門性の高い図書・雑誌等を収集しています。附属図書館の資料は、教員の選定によるもの、シラバスに指定されたものを中心として、学生のリクエストによるもの、教員や外部の方の寄贈によるものなども受け入れています。

・【電子ジャーナル】Elsevier 社、Springer 社といった大手出版社をはじめ、約 12,600 種の電子ジャーナルを利用することができます。

・【電子ブック】和書・洋書あわせて、約 38,200 冊の電子ブックを利用することができます。

・【データベース】雑誌論文検索データベースの EBSCOhost、CAS SciFinder、SCOPUS、医中誌 Web、各種百科事典やハンドブックのオンライン版である JapanKnowledge、Gale eBooks、新聞記事データベースの「朝日新聞クロスサーチ」、「ヨミダス」、「日経テレコン」などが利用できます。

B：施設

・附属図書館の利用者スペースは 2 フロアとなっています。平成 30 年のリニューアルでは、学習スペースを大幅に拡充しました（増築約 600 m²、改修約 2,800 m²）。

・図書館の入り口は 1 階に 2 か所あり、学内どこからでもアクセスし易くなっています。

・1 階のコモンズフロアは、明るい雰囲気の中で個人・グループで学習できるスペースです。オープンな学習スペースのスカイグローバルラーニングコモンズ、グループ学習室のミニコモンズ、セミナー等が開催できるプレゼンテーションルームなどがあります。また、PC スクエアでは 16 台のデスクトップ PC が利用できます。北エントランスに入ってすぐのウェルカムラウンジは誰でも自由に利用できるスペースとなっており、ピアノコンサートや企画展示なども行っています。

・2 階のラーニングフロアは、落ち着いた雰囲気の中で集中して学習できるスペースです。一般図書や参考図書、リベラルアーツ図書、ジェンダー研究所資料等が配架され、広々とした閲覧スペースのアカデミックラーニングスペース、仕切られた空間で静かに学習できるクワイエットラーニングルーム、学習の合間に休憩できるリラクセススペース、視聴覚ブース、ノート PC 自動貸出ロッカーなどが設けられています。2 階の奥には、大学院生用研究スペースもあります。

2) 附属図書館が提供する学習・研究支援サービス

A：レファレンスサービス

1 階の総合カウンターでは、図書館の利用に関する質問・相談、学外への文献複写・図書借用申込み、紹介状の発行などを受け付けています。中でも特筆すべきサービスは、学生に対し、文献複写の取り寄せを無料で実施していることです。さらに令和 6 年度の試行を経て、学外からの図書借用の送料を、年間 3 冊までは往復分、4 冊以降は片道分を無料としています。

B：情報リテラシー講習会

図書館は、学習・研究をサポートする各種講習会を企画・開催しています。「情報リテラシー」とは、高等教育の学びの場において必要となる「情報活用能力」のことで、図書館の資料や電子リソース、データベースなどを使いこなす力を含みます。図書館の使い方や基礎的な情報検索については、学内者限定の講習会動画を公開し、学部 1 年生必修の情報処理演習授業内で実施する情報探索基礎講習やその他の授業、ゼミ等で利用を案内しています。加えて、講習会動画には含まれないデータベースの説明や、希望分野に沿ったキーワードの設定など、より発展的な内容を扱う「オーダーメイド講習会」を、授業やゼミ、研究室等のグループ単位で受け付けています。このように、学部初年次教育から卒業研究、大学院等、様々なステージにいる学生の学習・研究をサポートしています。

C : LALA (Library Academic Learning Adviser) デスク

平成 26 年 4 月より、大学院生のライブラリー・アカデミック・ラーニング・アドバイザー (LALA) が学習相談を受け付ける LALA デスクを開設しています。LALA は、「共に学び、共に成長する」をキーワードに、文献の探し方やレポートの書き方など、学習や研究に関わるさまざまな質問や相談に対応しています。また、LALA デスク近くにアカデミックスキルズに関する本を集めた「LALA 文庫」を設置しているほか、note (LALA Tips) での情報発信や講習会 (LALA セミナー) も行っています。

D : LiSA (Library Student Assistant) プログラム

平成 19 年 11 月より始まった、図書館スタッフと学生の協働によるインターンシップ型の図書館活性化プログラムです。半年を 1 期とし、図書館に関心をもつ学生を募集し、図書館スタッフの指導・助言のもと、図書の装備、修理、配架といったさまざまな業務を体験してもらいます (通常業務)。また、学生の視点からの業務改善の提案や、資料展示、LiSA 文庫の運営、X による広報などの企画も行われています (自主企画)。多様な図書館資料に触れることにより積極的な学習意欲を喚起すること、他者をサポートする体験を通じて実践的なキャリア意識の形成を図ることを目標としています。

E : 教育・研究成果コレクション TeaPot (機関リポジトリ)

お茶の水女子大学の教育・研究成果を蓄積・発信する機関リポジトリは、平成 19 年 4 月に公開され、本学の名前にちなんだ「TeaPot」の愛称で親しまれています。本学所属者が執筆した学術論文、本学の学部・学科・センター等が発行する紀要雑誌に加え、雑誌『幼児の教育』の初号からの電子化公開、舞踊教育学コースの創作舞踊公演動画などの特徴的なコンテンツの公開に努めています。令和 7 年度末の累計登録件数は 44,587 件となりました。<https://teapot.lib.ocha.ac.jp/>

F : お茶の水女子大学 E-book サービス

平成 24 年 3 月からは、本学の教職員・大学院生の研究・教育成果を ISBN 付きの E-Book (主に PDF) として電子出版し、無料公開するサービスを開始しました。既存のしくみを活用し、出版会を持たない小規模な大学でも出版が可能であることを示したことが評価され、平成 25 年度国立大学図書館協会賞を受賞しています。令和 7 年度末現在の出版点数は 20 作品 24 点となっており、本学の研究成果の発信に寄与しています。
<https://teapot.lib.ocha.ac.jp/e-book>



LALA デスク



E-Book サービス画面